



はじける青春



2025.たちばな祭より(ダンス部によるステージ発表) 題字 佐藤裕子(昭和59年卒)

発行
福島県立
橘高等学校同窓会
(福島女子高等学校同窓会)

発行人
藤田 美智子

発行所
福島市宮下町7-41

会員数
40,159名
(2026.3 現在)

母校創立128年



伝統は前進する

同窓会会長 藤田 美智子
(昭和47年卒)

「伝統は前進する」。先のローマ
教皇フランシスコの言葉です。伝
統といえば、良きものとして受け
継がれたものを守るだけのことの
ように思っておりましたので、私
はこの言葉に大変新鮮な感動を覚
えました。

これまでの伝統を守るだけでは
むしろ後退なのではないか。時代
に合わせてアップデートしていく
ことが大事なのだということとし
よう。それは同窓会の活動におい
てもあてはまることです。時代の
変化とともに、同窓会活動も新た
な課題を抱えていくことになりま
す。だからこそ、現状を維持する
だけではなく、変えるべきところ
は変えていくことが求められるの
だと思えます。

一方で、培われてきた伝統があ
るからこそ、前進していく力が備
わっているともいえるのではない
でしょうか。

今年度から総会の通知につきま
しては、当番になられた学年の方
々には会報に同封してお知らせ

する方法に変更いたしました。さ
らに、総会を午後からの開催とし、
終了後の懇親会は茶話会といたし
ました。こうした変更の提案につ
きましても、会員の皆様にご理解
とご協力をいただくことができました。
また、会員の方からの提案
で、総会に先立ち、第一回支部長
会を開催し、支部の皆様方の生の
声を聞くことができました。この
ようなご理解、ご協力が得られる
のも、これまでの伝統があればこ
そと実感した次第です。

わが母校が共学となり、橘高
等学校と改称されてから今年で
二十三年目を迎えました。橘セミ
ナーの講師や評議員、学年幹事会
にも男性の新しい力が加わり、頼
もしく思っているところです。

再来年には母校が創立百三十周
年を迎えます。今後も「世代を超
えてつながる同窓会」「互いに高
め合う同窓会」を合い言葉に同窓
会活動を前へと進めていきたいと
思っております。今後一層のご協
力をお願いいたします。

節目の年に向けて

校長 佐藤 秀美



同窓会会員のみなさまには、日頃より本校教育に対し、物心両面にわたり多大なるご支援とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

今年度も、文武にわたって皆様の後輩たちは努め励んでおります。

昨年三月の卒業生は、国公立大学に一八二名の県内最多の合格者を出し、地域に有為な人材を輩出するという本校に課せられた責任を立派に果たしました。部活動におきましても、山岳部や水泳部がインターハイ出場を果たしたほか、文芸部、書道部、囲碁部が全国高等学校総合文化祭に本県代表として出場しました。合唱部も、去る十二月には、改修された県議会議場において、本県の若い力の代表として、県民の歌などを披露する榮譽に浴しました。

私も、去る六月に開催された同窓会総会にお招きいただきましたが、会場を埋め尽くす会員の皆様の熱気と母校への愛情に圧倒されました。令和九年度に本校は創立百三十周年の節目の年を迎えます。本校の更なる飛躍の年となるよう、記念事業の実施に向け、校内で実行委員会を立ち上げ準備を進めてまいりますので、同窓会の皆様にもご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地域の少子化も進み、令和六年の福島県の出生数は八千二百人余りと、令和八年度の福島県立高校の募集定員全体の七割にも満たない状況となっております。そのような中、「県立高等学校改革後期計画」におきましては、現在七クラス二八〇名となっている本校の募集定員も、令和十年度には六クラス二四〇名とされており、生徒数の減少に伴う教育活動の縮小が心配されるところでございます。本校は今後とも、福島県の将来を担う人材を輩出する、地域になくはならない高校として評価していただけるよう努力してまいります。ご支援の程よろしく申し上げます。

第3回 橘セミナー開催 和菓子の愉しみ

講師 菅野翔太郎さん



令和七年十月八日(水)午後一時三十分より、同窓会館で第三回橘セミナーを開催しました。講師には、福島市内で松屋清風庵四代目の和菓子職人、菅野翔太郎さん(平成二十年卒)をお迎えしました。菅野さんは、高三の冬休み、金沢への旅をきっかけに、和菓子の奥深さに魅了され、和菓子職人への道を選ばれたそうです。今回のセミナーでは、ご本人の今までの歩みや考え方を含め、和菓子の歴史、魅力について話をいただきました。また、練り切り餡を使った上生菓子作りの実演、試食もあり、目と耳と舌で、和菓子の魅力を堪能することができました。参加者は四十四名でした。

参加された方の感想より
*和菓子の歴史から実演まで、大変興味深く勉強になりました。
*せわしい毎日、世の中全体で「心のゆとり」がなくなりつつある今、和文化を見直し、心静かに楽しくゆったりと時を過ごすことはとても大切だと思いました。



第4回「橘セミナー」のご案内

ストレスを軽減し、リラックスを促す効果がある音楽療法について学んでみませんか。

演 題 「音楽のちから」

講 師 日本音楽療法学会認定 音楽療法士 池田 奈央 さん (平成6年卒)

日 時 令和8年10月3日(土) 13:30~15:00

場 所 橘高校 同窓会館 大会議室
申込締切 7月末日

参加ご希望の方は往復はがきに、氏名・卒年・住所・電話番号・「橘セミナー参加希望」と記入の上、下記宛にお送りください。

〒960-8011 福島市宮下町7-41
橘高校同窓会 宛

令和8年度(2026年) 総会のお知らせ

と き 令和8年6月20日(土) 13:00~15:30

ところ 福島グリーンパレス

当番学年 卒年に6のつく学年

内 容 総会
茶話会&ミニコンサート
ハーブ 滝沢美紀子さん(昭57卒)
フルーツ 須田 悦子さん(昭58卒)

会 費 2,000円

- ① 令和8年度総会の当番学年にあたる皆様にご案内と会費納入用紙を同封します。
- ② 払込用紙にて会費を納入していただくことで、総会への参加申し込みとさせていただきます。
- ③ 申込締切は4月末日とします。なおご不明な点につきましては事務局までお問い合わせください。

定期総会開催



六月二十一日(土)福島グリーンプレスにおいて、令和七年度同窓会総会及び懇親会を開催いたしました。

第一回支部長会開催

総会に先立ち、かねてより要望のあった第一回支部長会を開催しました。各支部長より、活動内容及び現状の報告があり、課題についての意見交換を行いました。

どの支部も会員減少が課題で、近隣の地域も含めて入会を呼びかけるなどの提案が出されました。活動維持のため、本部よりの助成金の要望が出され、今後検討していくこととなりました。支部情報をホームページにも掲載していきますので、巻末の二次元コードからご覧ください。



本年度は、5がつく学年が当番でした。総会では、各議案が原案どおり承認されました。その後、来賓の方や恩師を交えて、和やかな雰囲気の中で茶話会が行われました。茶話会では、藤岡純子さん(昭和五十一年卒)によるすばらしいセッションと楽しいトークを堪能しました。

本年3月母校卒業生

新学年幹事

Table with 2 columns: 組 (Group) and 氏名 (Name). Lists names for groups 1 through 7.

同窓会協力金 納入のお願い

毎回21,000余名の会員に会報を発送しておりますが、現在振り込んでくださっている人数は1,500名前後となっております。令和9年母校は創立130周年を迎えます。一人でも多くの方のご協力をお願いいたします。

1口1,000円(以上)の振り込みを!!

令和7年度同窓会事業報告

Table with 12 columns representing years from 3 to 4, and a '月日' (Date) column. Lists various activities like '会計監査' and '役員会'.

令和7年度 福島県立橘高等学校同窓会 一般会計予算書

収入金額 2,282,132円 自 令和7年4月1日
支出金額 2,282,132円 至 令和8年3月31日

Table with 5 columns: 項目 (Item), 予算額 (Budget), 前年度予算額 (Previous Year Budget), 比較増減 (Comparison Change), 摘要 (Summary). Shows budget details for 令和7年度.

Table with 5 columns: 項目 (Item), 予算額 (Budget), 前年度予算額 (Previous Year Budget), 比較増減 (Comparison Change), 摘要 (Summary). Shows budget details for 令和7年度.

(執行にあたっては項目間の流用を認めるものとする)

令和6年度 福島県立橘高等学校同窓会 一般会計決算書

収入金額 2,441,286円 自 令和6年4月1日
支出金額 1,989,154円 至 令和7年3月31日
次期繰越金 452,132円

Table with 5 columns: 項目 (Item), 予算額 (Budget), 決算額 (Final Amount), 比較増減 (Comparison Change), 摘要 (Summary). Shows actual results for 令和6年度.

Table with 5 columns: 項目 (Item), 予算額 (Budget), 決算額 (Final Amount), 比較増減 (Comparison Change), 摘要 (Summary). Shows actual results for 令和6年度.

監査いたしました結果、会計は適正に執行され、上記のとおり相違ないことを認めます。令和7年4月9日 監査 齋藤千代子

佐藤 恵子



特集 戦中戦後の私たちの青春

戦後八十年を迎えて、戦中と終戦直後に青春時代を過ごされた先輩方に当時のお話を伺い、「今」を考える機会にしたいと考え、特集を企画しました。

学徒動員で横須賀海軍工廠へ

(佐藤 貞子さん)
(昭和二十一年卒)

まず入学された当時の状況を教えてください。

日中戦争が始まっています。最初の頃授業はありましたが、農繁期になると農家に手伝いに行ったり、競馬場での開墾作業をしたりしました。それらが正規の授業とみなされていました。修練として、砂を入れた四キロのリュックを背負って、瀬上から飯坂まで行き、学校までの二十四キロの道のりを歩かされたこともありました。

学徒動員で横須賀に行かれたのは三年生の時ですか。

そうですね。三年生の十一月。十四歳でした。五クラス二百五十人と先生方と。

動員の前に海軍の将校が学校に来て、講堂でお話があったんです。「みんなの力を待ってる」というような。それでお国のために役に立ちたいという気持ちになりました。私たち、勇んでいったの

ですよ。軍国少女に育っていたんです。でも、送り出す親さんたちはもう涙ながらで。飯坂から送りにきた友人のお父さんは、涙が止まらず家まで歩いて帰ったと聞きました。

横須賀では寄宿舎に入っていたのですか。どんな生活だったのですか。

一番記憶に残っているのは、行って一週間も経たないうちに、夜空裏になったの。雨の夜だったので、滑る山道を「お母さん」と叫びながら逃げたの。当時のことを福女の後輩たちが「戦時下の青春」という劇にして文化祭で上演してくれたことがあったんですよ。

当時の食事などはどうでしたか。

大変でしたよ。量が少ないのを分けて食べるわけね。ある時、帰ったら先に帰った人が食缶から手づかみでご飯食べてたの。いくらお腹が空いたからって隠れて食べるなんて悲しいって、同じ部屋の友人と泣いたのを覚えています。

作業はどうだったんですか。

適性ごとに分けられてね。私は設計担当の写図班でした。終戦後十年くらい経ってわかったのは、特攻機の部品だったの。敵に突っ込む人の手助けをしていたんだって後でわかって胸が痛みました。

ほかに思い出されることは？

逗子が近かったから、最初のう



学徒動員の記録集を前に

ちは日曜日と海岸に行ったり、鎌倉の八幡宮に行ったり、ちょっとした間楽しい思い出したわけね。でも、すぐに戦争が激しくなってきたからそれどころではなかった。夜、空襲にあつて防空壕に逃げようと思って東京の方を見た空が真っ赤になつてるのが見えたりね。

怖い思いもされたのでしょうかね。

通勤途中に機銃掃射に遭つてね、かなりの低空飛行で。白河の男子生徒は何人か亡くなったの。私たちはトンネルに逃げてかろうじて助かったけど、その時、笑いながら撃つてるアメリカ兵の顔を見ちゃったの。それを終戦後何回夢にみたことか。

八月十五日の玉音放送と、その後？

何の前触れもなかった。よく聞き取れなかったけど、将校たちはすぐにわかって、「あなたたちはすぐに帰るなさい」と。逗子から福島まで、貨物列車で、長かったですよ。途中何回も止まって。でも、先生たちが私たちを守ってくださって。

帰ってきてからの生活は？

夏休みが終わって登校したら私たちの学年の下駄箱がなかった

全国大会出場おめでとう

◆全国大会出場◆

▽第49回全国高等学校総合文化祭 囲碁部門
女子個人戦 須田悠香俐
男子個人戦 高橋 牙輔

▽第49回文部科学大臣杯 全国高等学校囲碁選手権大会
男子団体戦 堀内 大夢 佐藤 樹
青木 勇斗 松林 亮汰

▽第49回全国高等学校総合文化祭 書道部門
松下 空末

▽第49回全国高等学校総合文化祭 文芸部門
末永 陸

▽令和7年度全国高等学校総合体育大会登山競技
石川 和香 二階堂菜摘
渡邊穂乃花 猪狩 汐梨

▽第79回滋賀国民スポーツ大会 水泳部
少年女子B自由形50m 木実谷 奏

▽第15回全国サーブル・チャレンジ・カップ北海道大会
2025北海道カデサーブルラン キングマツチ
カデ男子優勝 佐藤 柀吾

▽Proud NUMAZU CUP フェンシング選手権2025サーブルランキングマツチ&沼津北ロータリークラブカップ
第2位 佐藤 柀吾

▽AJSA2025全日本アマチュア選手権大会
ストリート種目 安達 柀介

激励金贈呈式

七月十六日校長室にて全国大会出場者への激励金贈呈式が行われました。努力を重ねた全国大会出場者へ藤田会長から激励の言葉が送られ、激励金が贈呈されました。



の。帰って来ると思われてなかったのね。友人たちはシヨックを受けていましたね。

ただ、横須賀に行って、一つだけよかったことは向学心が生まれなかったこと。私、勉強があまり好きでなかったのね。でも、横須賀から帰ってきて卒業までの七ヶ月間は本気になって勉強しましたよ。

子どもや孫の世代に私たちと同じような思いは絶対にさせてはならないと思います。

九十六歳の今も元気に生け花を教えています。

柿原千代先生の思い出

（遠藤 和子さん）
（昭和二十六年卒）

—遠藤さんは昭和二十六年の卒業でいらっしやいますが、入学はいつですか。

昭和二十年の四月です。十三歳でした。

—入学からの一学期間は、どんな高校生活を送られたのですか。

一応授業はありました。国語はもちろんですが、西洋史や中国史など。それに敵国語とされていた英語の授業もあったのです。英語の教科担任が柿原千代先生でした。先生手作りのガリ版刷りの教材で学びました。新しいことを習う喜びでワクワクしながら授業を受けたことを思い出します。

夏休みに土湯温泉に疎開していて、そこで終戦を知りました。土湯温泉から福島に向かうバスに、英語をお習いしていた柿原千代先生も乗っておられました。

—柿原先生は印象に残る先生だったのですか。

お習いしたのは一学期間だけでしたが、すらりとして貴婦人のような方で、子ども心に憧れのようないい先生を抱いていました。当時の女性の先生は標準服にモンペといった服装でしたが、千代先生は、下はズボンでしたがスーツを着て靴を履いておられました。ほかの先生方のように「日本は負けな

い」「撃ちてしまえ」といった勇ましいことは一切おっしゃいませんでした。職員室でも、他の先生方とおしゃべりしたりしているところを見たことがありませんでした。お別れの時に、これからは民主主義の世の中になる、男女同権の世の中になるのだと話されていたことを今でも思い出します。

—戦争中だった一学期、授業のほかに？

農家への手伝いや、雨の日は軍手作りの作業をしました。松根油にする松の木を運搬するのに、徒歩で金谷川と学校を往復したこともありました。

—終戦後に始まった二学期はどうでしたか？

横須賀に動員されていた四年生が学校に戻ってきました。進駐軍

の検閲があるかもしれないということで、教科書に先生から指示された部分を墨で黒く塗らされました。検閲などはありませんでしたが、強く印象に残りました。

—戦中とはかなり変わった？

さまざまなことが大きく変わりました。猫の目のように上からの教育方針が変わり、先生方も大変だったと思います。戦中とは言うことが変わった先生に、不信任を抱いた時もありました。

体育では、薙刀がなくなりフォークダンスになりました。クラブ活動が始まり、私は演劇部の部長になりました。文化祭も開かれ、一回目の舞台は「青い鳥」でした。在学中に市内の高校の演劇連盟ができて、福高の人たちと「頼朝の死」を上演したこともありました。先生方もとても解放された感じで、私たち生徒ととても親しくしてくださいました。私のアルバムには、先生方との写真が何枚も残っています。

—戦中では考えられなかった「自由」ですか？

生徒がクラス担任を選ぶ方式が採られたりもしました。修学旅行は、日光・鎌倉・伊豆へと三コースの自由選択で実施されました。とにかく、終戦後は自由を謳歌することのできた高校生活でした。



高校時代のアルバムを前に

お二人には、八十年前の貴重なお話をたくさん伺ったのですが、紙面の関係で全てを載せることができないことが大変残念です。

今回の企画に快く応じていただきましたお二人に、心より感謝申し上げます。

令和七年三月卒業生の大学合格状況と進路状況

国立大学の合格者は百八十二名でした。令和四年度に次ぐ過去二番目の数字であり、優秀な成績を収めることができました。総合選抜型・学校推薦型で三十名、前期・独自日程試験で百二十八名、中期・後期日程試験で二十四名の合格者を出しました。難関大では東北大学に四名、北海道大学に一名、大阪大学に一名の合格者を出しました。県内では福島大学に五十八名の合格者を出し、県内一位の座を守りました。公立大学へは県立医科大学には看護学部と保健科学部に十一名、会津大学には二名の合格者を出しました。また、私立大学では東北学院大学や東北福祉大学、東洋大学などに多数の合格者を出しました。

例年、後期試験直前は高校入試があるため、小論文指導や面接指導では同窓会館を利用させていただいております。このような環境にあることも進路実績の大きなプラス要因となっております。同窓会の皆さまにはこの場を借りて深く感謝申し上げます。（進路指導専事 山岸 淳一）

(4月1日現在)

令和7年度 入試合格状況

国立大学			公立大学			私立大学			私立大学		
大学名	現役	過年度卒	大学名	現役	過年度卒	大学名	現役	過年度卒	大学名	現役	過年度卒
北海道大	1	1	岩手県立大	2		茨城キリスト教大	1		武蔵野大	4	
弘前大	2	1	宮城大	2		国際医療福祉大	6		武蔵野美術大	3	
岩手大	1		会津大	2		自治医科大	1		明治大	1	2
東北大(文学)	1		福島県立医科大(看護学)	3		白鷲大	3		明治薬科大	3	
〃(教育)	1		〃(保健科学)	8	1	獨協大	8		立教大	1	
〃(医学)	2		群馬県立女子大	1		文教大	10		早稲田大	2	
宮城教育大	5		高崎経済大	4		神田外語大	3	1	神奈川大	11	
秋田大	2		東京都立大	2		千葉工業大	3	3	関東学院大	4	
山形大	12		横浜市立大	1		大妻女子大	1		新潟医療福祉大	5	
福島大(人関発達)	20		新潟県立大	7		学習院大	1		関西学院大	1	
〃(行政政策)	13		長岡造形大	2		北里大	3	1	ZEN大	2	
〃(経済経営)	14		福井県立大	1		駒澤大	3		その他の大学	23	2
〃(共生システム)	7		都留文科大	7		実践女子大	2		合計	351	16
〃(食農)	4		長野大	2		順天堂大	3				
茨城大	6		愛知県立大	1		成城大	1		短期大学		
筑波大	2		名城大	1		専修大	10		短大名	現役	過年度卒
宇都宮大	3		合計	46	1	玉川大	3		山形県米沢女子短期大	1	
群馬大	1					中央大	3		会津短期大	1	
埼玉大	8		私立大学			津田塾大	2		合計	2	0
千葉大	1	1	大学名	現役	過年度卒	東海大	4		専門学校等		
東京学芸大	4		酪農学園大	2		東京経済大	3		学校名	現役	過年度卒
東京農工大	2		石巻専修大	2	1	東京工科大	1		大原看護専門学校	2	
横浜国立大	1		仙台大	1		東京女子大	1		ポラリス保健看護学院	1	
上越教育大	1		東北学院大	88		東京農業大	3		山形美容専門学校	1	
新潟大	17		東北工業大	7		東京薬科大	1		東北電子専門学校	1	
金沢大	2		東北生活文化大	2		東京理科大	3	1	その他の学校	3	
信州大	1		東北福祉大	32		東洋大	32		合計	8	0
大阪大	1		東北医科薬科大	5		二松学舎大	1				
奈良教育大	1		宮城学院女子大	16		日本大	15	2			
合計	136	3	尚綱学院大	3		日本体育大	2				
			郡山女子大	1		法政大	3	2			

※表中の数字は、「合格者数」である。
※表中の「[過年度卒]」欄の合格者数については、既卒生徒で報告のあった人数を示している。

なつかしき恩師



「もうすぐ古希です」

源 後 正 能

平成元年4月〜平成8年3月
平成18年4月〜平成21年3月
(郡山市在住)

三十二歳で福女に赴任しました。千五百人を超える女子集団によく慣れ始めたころ、三年生の有志数十人が毎朝早く校庭で何やら始めました。前年に開催されたソウル五輪開会式のマスゲームを、九月の公開文化祭でコスチュームまで揃えて再現するための練習でした。クラスの出し物だけでも大変なのに、手を広げて一ヶ月以上前から意欲的に取り組む様子に「後を一年間担任しました。ジェラートを食べに授業を抜け出したり、夕方の公園で宴会を開いたり、また、文化祭での踊り習得のために尾花沢での合宿を担当が知らない間に実行したりなど、青春を謳歌する乙女たちに行うという鍛えられました。選択科目の世界史担当だったので、クラス全員の授業を持ってない時に学級通信を出したのも良い思い出です。最後の年は「ふくしま国体」開催で男子剣道チームに關わって学校を留守にすることが多く、この時の生徒たちには申し訳なかったと今も思っています。

その十年後に教頭として着任した橋は、球技大会のユニフォームをデザインから縫製まで自作する慣習はなくなっていました。校内文化祭でのクラス発表が体育館ではなく県文化センターでの開催になり、しかもそのほとんどが高いレベルの見事なステージ発表に進化していました。百周年での大先輩方の母校愛にも伝統校の伝統を実感し、「畏るべし」を再認識しました。

福女でも橋でも、力不足を補い支えていただきましたことに心から感謝申し上げます。私は馬齢を重ねて来年古希を迎えますが元気で。皆さまも、お元気でありますように。

マイドリム・マイロード

活躍する先輩・後輩

私の人生を変えた

合唱との出会い

工藤 かや (平成元年卒)

ある日の中学校の帰り道、福島女子高校からきこえてくる合唱の歌声に足が止まりました。いつの日か、福女の横の細い道に自転車を停め、その歌声を聴くのが日課になっていました。何度も何度も繰り返しながら厳しく練習してい



る姿が想像できました。「彼女たちは努力を重ねている。私は何も

努力をしていない。このままではいけない！仲間になって合唱をしたい！」中学時代、何に対しても自信が持てなかった私が、強く感じた瞬間でした。

福女に入学し、憧れの合唱部に入部。自分の技能は未熟でしたが、誰かの声と重なって響き、自分を包み込んでくれる合唱。目標に向かい努力を重ねる日々は、自信がなかった私の人生を大きく変えてくれました。

結婚を機に沖繩へ移住し、小学校の教員になりました。悲しい戦争の歴史を背負っている沖繩の人々は、悲しい時こそ歌い、励ま

し合いながら力強く生きてきたのです。私はこの沖繩で、自分の人生を変えてくれた合唱を通して、子どもたちを育てていきたいと思うようになりました。

昨年度の秋、郡山で行われた第七十七回全日本合唱コンクール小学生部門。努力が実を結び、私を福島に連れてきてくれた子どもたちも心に感謝でいっぱいです。コンクール会場で、スタッフの皆さんが、「工藤先生、お帰りなさい」と言ってくれた瞬間、涙が溢れました。私の故郷に、沖繩の子どもたちの合唱が響いたあの時の感動を胸に、これからも音楽を積み重ねていきます。故郷福島を想いながら。

工藤 かや プロフィール

文教大学教育学部中等音楽専攻を卒業後、同大学教育学部専攻科修士課程を修了。沖繩県の小学校教員に採用後、一日退職。イタリアで三年間音楽家生活。令和元年度文部科学大臣優秀教職員表彰。現在、那覇市立さつき小学校教諭。

夢への第一歩

田村 優介 (平成25年卒)



私が橋を選んだ理由の一つに放送部がある。その頃からアナウンサーの夢を胸に秘めていた。少しでもその夢に近づければと放送部の門を叩いたが、さすが元女子高。男子部員はいないどころか、私が「史上初の男子部員」となった。そのほか、新聞委員会にも所属。当時から「人に何かを伝

えること」がほど好きだったのだろう。

放送部では作品制作以外にも何かしたいと思い、文化祭前の校内放送で各クラスの催しやテーマ曲を流す新たな試みも行った。加えて翌日の天気予報を読んだところ、当時のN先生から「それは関係あるのかな田村君？」と釘を刺されたこともいい思い出。間違はなくアナウンサーへの想いはこの場所でも強くなっていった。

大学でも放送と新聞のサークルへ入った。充実した学生生活であったが、夢への道は険しかった。自主留年をしてまで全国の放送局を受けたが縁はなく、卒業して出版社に入社した。

それでも夢は諦めきれず、受験を続けて二年、FMのラジオ局に転職。念願のマイクデビューだった。しかし試練は続き、わずか一年で退職を余儀なくされた。再び受験生活を経て現在、縁のあった高知でアナウンサーと記者をしている。

決して順風満帆ではなかったが念ずれば花開く結果となった。自分が燃え尽きるまで、悔いなくやり切ったと思うまで挑戦を続けて今があると感じている。

遠く離れた高知から、福島をはじめ全国に映る機会は滅多にないが、皆さまのお目にかかれるよう邁進していきたい。

結びに、夢への第一歩となった橋高校、そこで出会った恩師、同級生、そして先輩・後輩の皆さまに感謝を申し上げて筆を擱きたい。

田村 優介 プロフィール

平成三十年 上智大学文学部新聞学科卒業
交通新聞社、エフエム東京を経て
令和五年から高知さんさんテレビ
アナウンサー兼記者

支部だより

郡山支部

皆で力を合わせて

令和七年度の郡山支部福桜会のつどいを六月二十五日に開きました。...



福桜会のつどい

須賀川支部

須賀川牡丹会の活動

加藤(村上)良子(昭33年卒)



紅葉を見る会

これからの課題は、いかにして会員増に取り組んでいくかということ。...

本年度の総会は、本部副会長の桂聡子さんと榎村恵子さんにおいていただきました。...

十月の「紅葉を見る会」は、桂聡子さんに参加いただき、交流会では神保明子さんによる「オックスフォードの三か月」の話と橋高校校歌の練習をしました。...

川俣たちばな会

来たれ、橋高同窓生!

昆(舟山)久美子(昭44年卒)

二年ぶりの令和七年度総会を、七月十三日、「岩代屋敷大王」にて開催しました。...

子前会長の思い出やそれぞれの近況を報告し合って、和やかな時間を過ごしました。...

支部総会開催のお知らせ

東京支部

日時 二〇二六年十月四日(日) 十二時

会場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)

会費 一万円(予定)

関東在住の方、ぜひご参加下さい。詳細はホームページのご確認またはメールでご連絡をお願いします。...

メール: fhs.tokyo@gmail.com 幹事 平塚寧子(昭58年卒)

須賀川支部

日時 二〇二六年六月二十八日(日)

会場 グランシア須賀川(福医大大学院で学んだこと)

交流会 「西間木ます子(昭47年卒)

郡山支部

郡山福桜会では、支部総会を六月中旬に開催予定。内容が決まり次第、同窓会HPにてお知らせいたします。

支部一覽

Table with 4 columns: 支部名, 支部長, 卒年. Lists various branches and their leaders and graduation years.

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

敬弔 (客員)

Table with 4 columns: 氏名, 会員, 卒年. Lists names of members and their graduation years.

Large table with 4 columns: 氏名, 会員, 卒年. Lists names of members and their graduation years.

学年だより

人々とのつながりの中で

石井三瓶道子(昭和35年卒)

昭和三十三年四百五十名で福女に入学した私たち。翌年指導要領改訂で、女子も生涯の職業を、との方針変更により家庭科の募集終了。普通科のみのクラス制に。でも私たちが三年間講座選択制で卒業寸前の学校火災のため昭和三十五年市公会堂で卒業式。旧制最後の卒業生とのこと。

卒業後二十五年目同窓会初参加。本部役員と学年評議員での総会のあと「永井路子講演会」開催。当番学年として参加者動員のため同窓会を企画し百四十五名が参加。その後「珊瑚会」として五年毎に開催した同期会は喜寿記念をもって解散。当番学年五回目今年は「お茶会」の形となり十一名参加。案内・集金等会報掲載による自主的参加に前進です。

戦時中三、四歳だった私たちは親・先生方の「創意工夫」の中で豊かに育てられ、八十路を越えた今、昭和の「人々との関わり」に支えられ、たおやかに過ごしています。



昭和35年卒

十年後の再会を胸に

加藤加藤恵理子(昭和45年卒)

毎年開催されている我が母校同窓会の出席機会は十年に一度で

す。そして頻繁に行われていたクラス会もコロナ禍以降、中断してしまいました。当日、総会・茶話会と会は進み終盤には新旧校歌合唱となりました。卒業から五十五年、気持ちには制服姿の私たちでした。諸先輩後輩と共に参加できた同窓会は有意義で楽しい時間でした。十年後の次回参加を目ざし、心身共に健康で過ごしたいと願います。

そして毎回ながら年一度の同窓会準備に奔走されました役員、スタッフの方々の尽力に心より感謝申し上げます。



昭和45年卒

「華甲」三年輝いて

柳沼柳沼紀子(昭和55年卒)

懐かしい皆様に会い、一瞬で四十五年の時を過ぎました。思い出話に花を咲かせ近況を知らせ合おう、私にとつて大切なひとときを過ごすことができました。また、総会では、私たちの校歌「信天山松と桜の」をいっしょに歌うことができ、胸がいっぱいになりました。



昭和55年卒

「還暦」を「華甲」ともいうので、久しぶりに会った皆様は、さまざまな人生経験と、その中で培ってきた自信と、女学生の頃より一層華やき、輝いていました。また元気に再会できることをとても楽しみにしています。今総会の成功のために、昨秋より企画・準備・運営に携わり、ご尽力下さった事務局の皆様と、学年幹事の皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

変わらぬ笑顔

齋藤(渡辺)裕子(平成5年卒)

卒業から三十三年。あまりの早さに驚きを感じます。今回は二十二年の懐かしい顔ぶれで、恩師山崎学先生を囲み笑顔あふれる楽しい時間を過ごすことができました。卒業アルバム



平成5年卒

を開き思い出話に花が咲き、旧友との語らひは一瞬で高校時代にタイムスリップしました。十年後、私たちも還暦です。変わらぬ笑顔でまた元氣にお会いしましょう。この同窓会が旧友との輪を拡げ、再び繋がれる機会となりますよう願っております。

「福女」に思いを馳せて

杉山(橋本)倫子(平成15年卒)

あの何物にも代えがたい高校生活が、頭の片隅に置かれ、何年が経過していったでしょうか。あつという間の年月でした。縁があり、福女高校でのキャリアアゲイダンスにお招きいただき、また当時の感情が呼び起こされました。時を同じくして、同窓会総会に参加させて

いただき、やはり私にとって「福女」が思い入れの深いものであると再認識しました。正直に申し上げますと、当時の細かい記憶は曖昧な部分も多かったのです。それでも、漠然とした楽しい感情、充実した毎日、今は得ることが難しくなった達成感など、心の部分で福女と繋がっていました。今回、先生方にもお会いでき、時間の経過を不思議に感じるとともに、その関わりが続くことを大変嬉しく思います。



平成15年卒



会報バックナンバーは同窓会ホームページでご覧いただけます。

お慶び

- 昭和31年卒 大橋 善子様
- 福島県文化振興財団頭影 美術(美術)
- 昭和43年卒 初澤 喜子様
- 旭日双光章(元県薬剤師会副会長)
- 昭和45年卒 玉川 富江様
- 瑞宝単光章(元竹田緑島病院看護部長)
- 昭和47年卒 武藤 類子様
- ドイツ・バイエルン環境賞 六戸 路枝様
- 福島県文化振興財団頭影 美術(書)

寄付金

- 昭和46年卒 堀江 光様
- 50,000円 遺志金
- 元川保支部長故齋藤幸子(昭18卒)様
- 昭和52年卒 田中 京子様
- 50,000円 寄付金
- 昭和45年卒 大橋千賀子様
- 50,000円 寄付金
- 昭和59年卒 菅野 幸子様
- 18,710円 クラス会費金
- 平成2年卒 大槻 聡美様
- 21,000円 平2年学年会費金
- その他多くのご遺志金・寄付金等のご支援ありがとうございました。

寄贈書

- 昭和28年卒 鈴木 淑子様
- 恩師 長久保宏人様
- 「随筆短歌」書いてはみたが 他2冊
- 昭和36年卒 半澤 トシ様
- 福島の歌枕 資料集

異動手続きのお願い

住所等に変更のあった方は事務局へお知らせください。正確を期すため必ず書面で下記のいずれかをお願いします。

- 協力金振込用紙通信欄
- ホームページ お問い合わせフォーム
- ファックス ●ハガキ

同窓会事務局

〒960-8011 福島市宮下町7番41号
電話番号 024-572-5805(水曜日のみ対応)
FAX番号 024-572-5806
E-mail f-tachibana-dosokai@ace.ocn.ne.jp

あとながき 多くの会員の皆様のご協力により、会報を発行することができました。感謝申し上げます。今後とも、同窓会活動にご支援及びご協力よろしくお願いたします。